

市税業務におけるRPAの導入について (結果報告) 概要版

1 実験結果

市民税課では、市税業務におけるRPA導入を検討するため、平成30年に5事業者と実証実験を行い、4業務で543時間（51.8%）の削減が見込まれたため、本格導入した。以下は実証実験の結果。

	事業者	業務名	現状(年間)	RPA導入後(年間)	削減時間	削減率
1	富士通株式会社	年金情報異動入力 (CSV → RPA)	240時間	48時間	192時間	80.0%
2	日本電気株式会社	特別徴収異動届入力 (紙 → OCR → RPA)	592時間	398時間	194時間	32.8%
3	株式会社日立システムズ	年度切替処理入力 (CSV → RPA)	201時間	53時間	148時間	73.6%
4	株式会社アイネス・三菱総合研究所	事業所税申告書入力 (CSV → RPA)	15時間	6時間	9時間	60.0%
合 計			1,048時間	505時間	543時間	51.8%

2 導入結果

実際に導入した効果については以下の表のとおり。4業務で296時間（39.8%）の削減となった。
※富士通株式会社の「年金情報異動入力」は稼働中のため、7月・8月の実績より推計した。

	事業者	業務名	現状時間	RPA導入後時間	削減時間	削減率
1	富士通株式会社	年金情報異動入力 (CSV → RPA)	60時間	24時間	36時間	60.0%
2	日本電気株式会社	特別徴収異動届入力 (紙 → OCR → RPA)	556時間	388時間	168時間	30.2%
3	株式会社日立システムズ	年度切替処理入力 (CSV → RPA)	112時間	20時間	92時間	82.1%
4	株式会社アイネス	事業所税申告書入力 (CSV → RPA)	15時間	15時間	0時間	0.0%
合 計			743時間	447時間	296時間	39.8%

3 予算 (導入経費)

本格導入にあたり以下の予算で対応した。実証実験で構築したシナリオをほぼそのまま導入したこと、利用期間を繁忙期に限定したことにより、経費の削減を図った。

事業者	富士通	日本電気	日立システムズ	アイネス
契約期間	7月～12月	2月～7月	4月～5月	5月
利用期間	6ヶ月	6ヶ月	2ヶ月	1ヶ月
RPA利用料	840,000	800,000	270,000	90,000
合計 (税込)	911,430	864,000	291,600	97,200
			TOTAL	2,164,230